

平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月8日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東  
 コード番号 6156 URL http://www.a-one-seimitsu.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也 (TEL) 042-363-1039  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	1,424	5.6	372	13.4	372	7.8	274	13.0
26年6月期第3四半期	1,349	3.4	328	14.4	345	13.1	243	30.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年6月期第3四半期	189.10		—					
26年6月期第3四半期	162.25		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	7,729	7,004	90.6
26年6月期	8,196	7,531	91.9

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 7,004百万円 26年6月期 7,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	66.00	66.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,950	7.0	548	25.0	570	23.4	355	11.4	236.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年6月期3Q	1,500,000株	26年6月期	1,500,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年6月期3Q	300,237株	26年6月期	237株
----------	----------	--------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年6月期3Q	1,453,778株	26年6月期3Q	1,499,863株
----------	------------	----------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、消費活動が底堅く推移し製造業においても生産水準を維持し総じて堅調に推移しました。国内製造業に関しては、一時期に比べて為替が円安傾向に定着し海外での価格競争力が出てきていることもあり、海外生産でコストが合わないものや歩留まりの低いものなどを国内生産に戻す動きが出てきています。またこのところの緩やかな国内景気回復に伴い国内生産が増産となってきています。海外に生産拠点を持つ大規模製造業中心に海外消費の恩恵を受けやすく、また円安傾向により海外案件受注に繋がる重電・インフラ関連企業などが受注増加傾向になり、昨年あたりから国内外での設備投資が増加してきています。この状況は3月年度末に掛けても継続し、大規模企業の設備投資が牽引役となり、中小企業においても設備投資補助金・設備投資減税などの政策の後押しもあり、製造業は全般的に底堅い動きとなりました。ただし、先行して業績回復が鮮明となった製造業の大規模企業に比較して、中小企業においては単品小ロット加工が主体となり受注単価は依然として厳しいものが多く、受注量の確保ができて業績の回復には直接繋がらないケースが大半であります。そのため資産価格上昇などの恩恵を受け消費を増やす家計が増える一方で、中小企業では給与所得が上がらず必要最低限に消費を抑制する家計もあり、国内消費回復の力強さは感じられない状況と思われま

す。海外においては米国で消費活動がやや一服した感があり自動車の設備投資が減少し、一般機械も横ばいとなりましたが、航空機などは増加傾向であり今後も消費は増加傾向を示すと予想されます。欧州ではギリシャの金融問題が再燃し状況を注視していますが、設備投資はほぼ横ばいで推移しました。アジアでは現地需要の強さを反映して世界から各メーカーが製造拠点を増加させており、自動車、一般機械の設備需要は旺盛であります。一方で急速な伸びが一服したスマートフォンに関連した電子部品の設備投資はやや減少しました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、3月年度末に掛けて国内製造業の機械稼働率が高かったことや設備投資による新たな工具需要があったこと等で当社の受注も堅調に推移しました。この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は977,294千円(前年同期比5.8%増)、セグメント利益は487,693千円(前年同期比10.3%増)となりました。

切削工具部門では、高付加価値部品の製造が堅調で設備投資需要も高かったことで当社の受注も緩やかに増加しましたが、3月の半ばからはやや減速しました。この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は417,622千円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益は105,697千円(前年同期比20.4%増)となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤で加工する量産部品加工が2月は増加しましたが3月には減少し平均すると当社の受注は微減となりました。この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は30,066千円(前年同期比3.2%減)、セグメント利益は11,622千円(前年同期比14.5%減)となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,424,983千円(前年同期比5.6%増)、営業利益は372,361千円(前年同期比13.4%増)、経常利益は372,696千円(前年同期比7.8%増)、四半期純利益は274,918千円(前年同期比13.0%増)となりました。

セグメント別の売上は、以下のとおりであります。

(%表示は対前年同期比)

事業部門別	期別		第24期 第3四半期		第25期 第3四半期		第24期	
	(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)		(自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)		(自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日)			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
コレットチャック部門	923	(103.7)	977	(105.8)	1,248	(106.1)		
切削工具部門	394	(102.8)	417	(106.0)	530	(103.2)		
自動旋盤用カム部門	31	(105.3)	30	(96.8)	43	(112.0)		
合計	1,349	(103.4)	1,424	(105.6)	1,823	(105.4)		

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、4,528,228千円(前事業年度末は5,018,617千円)となり490,388千円の減少となりました。これは、受取手形及び売掛金が5,910千円、その他が5,529千円増加しましたが、現金及び預金が491,544千円、繰延税金資産が4,200千円減少したこと等によるものであります。

また当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,200,832千円(前事業年度末は3,178,048千円)となり22,784千円の増加となりました。これは、建物及び構築物が34,090千円、機械装置及び運搬具が31,535千円減少しましたが、投資有価証券が91,251千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における総資産は、7,729,061千円(前事業年度末は8,196,665千円)となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、245,282千円(前事業年度末は247,742千円)となり2,460千円の減少となりました。これは、未払金が70,879千円増加しましたが、未払法人税等が60,669千円、その他が9,809千円、役員賞与引当金が2,210千円減少したこと等によるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、479,754千円(前事業年度末は417,419千円)となり62,335千円の増加となりました。これは、繰延税金負債が52,051千円、役員退職慰労引当金が6,740千円、退職給付引当金が3,544千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、725,036千円(前事業年度末は665,161千円)となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、7,004,024千円(前事業年度末は7,531,503千円)となり527,479千円の減少となりました。これは、利益剰余金が175,934千円、その他有価証券評価差額金が136,586千円増加しましたが、自己株式の取得による純資産の減少が840,000千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、平成26年8月12日発表の業績予想どおりとなる見込みであります。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,376,168	3,884,624
受取手形及び売掛金	415,574	421,485
製品	3,350	3,575
原材料	29,208	27,445
仕掛品	170,985	167,193
繰延税金資産	24,473	20,273
その他	1,159	6,689
貸倒引当金	△2,303	△3,057
流動資産合計	5,018,617	4,528,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	601,760	567,670
機械装置及び運搬具(純額)	611,751	580,216
土地	319,337	319,337
その他(純額)	4,601	3,429
有形固定資産合計	1,537,450	1,470,653
無形固定資産	7,968	6,321
投資その他の資産		
投資有価証券	1,632,509	1,723,760
その他	655	427
貸倒引当金	△534	△329
投資その他の資産合計	1,632,629	1,723,858
固定資産合計	3,178,048	3,200,832
資産合計	8,196,665	7,729,061
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,420	15,768
未払金	73,775	144,655
未払法人税等	118,743	58,074
役員賞与引当金	11,000	8,790
その他	27,803	17,993
流動負債合計	247,742	245,282
固定負債		
退職給付引当金	344,160	347,704
役員退職慰労引当金	61,730	68,470
繰延税金負債	11,528	63,580
固定負債合計	417,419	479,754
負債合計	665,161	725,036

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	337,400	337,400
利益剰余金	6,739,616	6,915,550
自己株式	△686	△840,686
株主資本合計	7,368,830	6,704,764
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	162,673	299,260
評価・換算差額等合計	162,673	299,260
純資産合計	7,531,503	7,004,024
負債純資産合計	8,196,665	7,729,061

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,349,144	1,424,983
売上原価	812,092	825,461
売上総利益	537,051	599,522
販売費及び一般管理費	208,775	227,160
営業利益	328,276	372,361
営業外収益		
受取利息	839	937
有価証券利息	374	12,292
受取配当金	12,386	12,158
その他	3,785	2,868
営業外収益合計	17,386	28,257
営業外費用		
自己株式取得費用	—	27,922
営業外費用合計	—	27,922
経常利益	345,662	372,696
特別利益		
有形固定資産売却益	—	79
投資有価証券売却益	46,016	59,506
特別利益合計	46,016	59,586
特別損失		
有形固定資産売却損	72	—
有形固定資産除却損	292	—
特別損失合計	364	—
税引前四半期純利益	391,314	432,282
法人税、住民税及び事業税	157,600	152,414
法人税等調整額	△9,644	4,949
法人税等合計	147,955	157,364
四半期純利益	243,358	274,918



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年12月18日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき自己株式の取得を決議し、平成27年2月18日に自己株式300,000株の取得を行いました。

この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が840,000千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が840,686千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	923,983	394,100	31,059	1,349,144	—	1,349,144
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	923,983	394,100	31,059	1,349,144	—	1,349,144
セグメント利益	442,122	87,778	13,600	543,501	△215,225	328,276

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△6,450千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	977,294	417,622	30,066	1,424,983	—	1,424,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	977,294	417,622	30,066	1,424,983	—	1,424,983
セグメント利益	487,693	105,697	11,622	605,014	△232,652	372,361

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△5,491千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。